

令和4年

乙訓消防組合第2回議会  
会 議 録

令和4年6月29日

乙訓消防組合議会

## 乙訓消防組合議会令和4年第2回定例会会議録

### 目 次

○出席議員	.....	1
○欠席議員	.....	1
○事務局職員出席者	.....	1
○説明のため出席した者	.....	1
○議事日程	.....	1
○開会	.....	2
○日程 1 会議録署名議員の指名	.....	2
○日程 2 会期の決定	.....	2
○日程 3 管理者の諸報告	.....	2
○日程 4 監査報告第2号 例月出納検査の結果報告について	.....	5
○日程 5 議案第 6号 財産（普通ポンプ自動車 水槽付き）の取得 について	.....	5
○日程 6 議員の派遣について	.....	7
○閉会	.....	10

令和4年6月29日（水）

# 会 議 録

乙訓消防組合議会令和4年第2回定例会

議事日程第2号

令和4年6月29日(水)

午前9時58分開議

○出席議員(9名)

向日市	米重健男議員	天野俊宏議員
	福田正人議員	
長岡京市	山本法政議員	福島和人議員
	上村真造議員	進藤裕之議員
大山崎町	北村吉史議員	渋谷進議員

○欠席議員(0名)

○事務局職員出席者

総 務 課 孟 志 書記

○地方自治法第121条の規定により、説明のため出席した者(14名)

中小路 健 吾	管 理 者(長岡京市長)
安 田 守	副管理者(向日市長)
前 川 光	副管理者(大山崎町長)
小 林 賢 次	代 表 監 査 委 員
井 上 浩 二	会 計 管 理 者
松 岡 隆 司	消 防 長
浅 田 太	本 部 次 長
高 橋 義 彦	本 部 次 長 兼 警 防 課 長
壬 生 成	向 日 消 防 署 長
小 林 秀 行	長 岡 京 消 防 署 長
佐 伯 英 樹	大 山 崎 消 防 署 長
岡 正 幸	本 部 総 務 課 長
湯 川 和 之	本 部 予 防 課 長
竹 上 宏	本 部 救 急 課 長

○議事日程

日程 1 会議録署名議員の指名

- 日程 2 会期の決定  
日程 3 管理者の諸報告  
日程 4 監査報告第2号 例月出納検査の結果報告について  
日程 5 議案第 6号 財産（普通ポンプ自動車 水槽付き）の取得について  
日程 6 議員の派遣について

○会議録署名議員

長岡京市 山本法政議員  
長岡京市 福島和人議員

～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．

開会 午前9時58分

○天野俊宏議長 皆さん、おはようございます。

定刻より若干早いですけれども、皆さんおそろいですので、始めさせていただきたいと思えます。

開会に先立ちまして、事務局から参考資料が席上に配付されておりますので、ご確認のほどよろしくお願いいたします。

ただいまの出席議員は9人であります。地方自治法第113条の規定による定足数に達しておりますので、会議は成立いたします。

ただいまから、乙訓消防組合議会令和4年第2回定例会を開会いたします。

日程に入ります。

日程1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第78条の規定により、山本法政議員、福島和人議員を指名いたします。

○天野俊宏議長 次に、日程2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

会期につきましては、本日1日限りとすることにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認め、よって、会期は本日1日限りと決定いたしました。

○天野俊宏議長 次に、日程3、管理者の諸報告であります。

中小路管理者。

○中小路健吾管理者 皆さん、おはようございます。本日もよろしくお願いいたします。

本日、乙訓消防組合議会令和4年第2回定例会を招集させていただきましたところ、議員各位におかれましては、ご多用の中ご参集いただきまして、誠にありがとうございます。

ます。

管理者諸報告に入ります前に、4月1日付で幹部職員の人事異動を行いましたので、紹介させていただきます。

消防長の松岡でございます。

次長の浅田でございます。

次長兼警防課長の高橋でございます。

向日消防署長の壬生でございます。

長岡京消防署長の小林でございます。

総務課長の岡でございます。

予防課長の湯川でございます。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、管理者諸報告をさせていただきます。

初めに、3月から5月までの3か月間の火災、救助、救急、その他災害件数の状況につきましてご報告申し上げます。

この間の出場件数につきましては、総計1,739件の出場をいたしております。内訳では、火災出場6件、救助出場11件、その他災害出場9件で、救急出場につきましては1,713件となっております。

前年同期と比較いたしまして、火災は2件減少、救助出場は6件減少、その他災害は3件増加で、救急出場は202件増加となっております。

火災6件の内訳は、建物火災4件、車両火災1件、その他の火災1件でございました。建物火災4件のうち、主なものにつきまして概要をご報告申し上げます。

去る5月26日の明け方、向日市寺戸町地内で発生いたしました火災につきましては、乙訓消防組合から消防車等13台59名が出場し、消火・救護活動に当たりました。

この火災では、4戸建て住宅1棟を含む2棟が全焼、1棟が半焼、1棟が部分焼、さらに2棟がぼや、合計6棟が焼損し、出火元住宅の80歳の女性1名がお亡くなりになりましたほか、2名の負傷者を医療機関に救急搬送するという痛ましい事案となりましたが、向日市消防団から消防車6台、団長以下74名の出場をいただき、署・団一丸となった活動によりまして、延焼を最小限に食い止めることができました。

なお、出火原因につきましては、現在、調査中となっております。

また、建物火災のうち、住宅用火災警報器の設置が必要となる対象物は3件で、設置の状況は、設置ありが1件、設置なしが1件、調査中が1件となっております。

高速道路上への災害出場につきましては、火災1件、救助1件、救急3件に出場いたしております。

乙訓消防組合といたしましては、これからも、各市町の消防団と連携をとりながら、安心して安全なまちづくりに取り組んでまいり所存であります。

次に、火災予防の啓発についてご報告いたします。

6月5日から11日まで、全国一斉に「危険物安全週間」が展開されました。

乙訓消防組合といたしましては、広報活動として、構成団体の広報紙及び本組合のホームページ、並びにJR、阪急電鉄各駅などの電光掲示板を通じた啓発活動、また、同週間に先立ちまして、FMおとくにに出演し、消毒用アルコールなど、身近な危険物の取扱いについて注意を呼びかけました。

更に、各事業所での立看板及びポスターを掲出していただくことにより、危険物の自主保安管理意識の啓発を図ったところであります。

また、危険物施設の保有事業所に対しまして、集中的な立入検査を実施し、消防法令を遵守していただくよう指導に努めました。

このほか、危険物施設保有事業所に対する消防訓練を積極的に指導し、6月8日には、帝産観光バス株式会社京都支店との合同消防訓練を実施し、防火意識の高揚と災害対応力の強化に努めたところであります。

次に、水防訓練についてご報告申し上げます。

去る6月5日に、長岡京市勝竜寺の小畑川と犬川合流点におきまして、長岡京消防署と長岡京市消防団並びに長岡京市役所職員ら約110名が、また同日、大山崎町大山崎の桂川右岸河川敷におきまして、大山崎消防署と大山崎町消防団並びに大山崎町役場職員ら約90名が、水防訓練を実施されたところでございます。

これらの訓練を通じ、水防技術の向上に努め、出水期に備えるとともに、広く住民の皆さんに水防意識を高めていただき、地域ぐるみで自然災害に備え、万全を期していく所存でございます。

次に、京都府南部消防指令センター共同運用の検討につきまして、ご報告申し上げます。

京都府及び京都市を含みます南部9消防本部による、京都府南部消防指令センター共同運用につきましては、先の3月議会でもご報告させていただいておりますが、4月からは、コンサルタント会社による基本調査が開始され、整備スケジュールや概算事業費の算出、また、消防指令システムの高機能化に関する具体的な機能の検討や、効率的に共同運用を実現するための基本資料の作成が行われ、8月頃には、一定、検討資料がそろそろ予定でございます。

今後も、検討会及び当該検討会の下部組織であります各部会において、検討した内容等につきまして、都度、ご報告をしたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

最後に、先の3月議会でご報告とお詫びをさせていただきました、職員への期末勤勉手当の過少支給の問題でございますが、再発防止に向けた取り組み等について、ご報告申し上げます。

初めに、法に基づく2年間遡っての不支給分の対応につきましては、関係各位のご理解、ご協力のおかげをもちまして、先月、5月20日の給与支給に合わせまして、対象

職員24名に対し、総支給額で約279万円を支給させていただくことができましたことをご報告させていただきます。

次に、再発防止対策でございますが、担当課におきましては、複数名の職員での給与システムへの入力作業や、情報共有の励行などを着実に実行に移すと同時に、定期的なマスタデータのチェックや、役職に応じたチェックなど、チェック体制を盛り込んだ業務マニュアル作成についても取り組んでいるところでございます。

今後につきましては、このような事態を二度と起こさないよう、職員一人一人が意識をもって職責を果たし、再発防止に努めてまいり所存でございますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

以上、管理者諸報告とさせていただきます。

○

○**天野俊宏議長** 次に、日程4、監査報告第2号 例月出納検査の結果報告についてであります。

代表監査委員の報告を求めます。

小林代表監査委員。

○**小林賢次代表監査委員** 例月出納検査の結果報告を申し上げます。

地方自治法第235条の2第1項の規定に基づき、令和3年度一般会計の令和4年2月分、3月分、4月分及び令和4年度一般会計の令和4年4月分の例月出納検査を実施いたしましたので、同条第3項の規定によりその結果を報告いたします。

各月ごとに、関係諸帳簿、公金受払報告書、その他裏づけとなります証票書類及び金融機関残高証明書等を照合するなど、検査いたしました結果、計数に誤りもなく、出納及び現金の保管等、適正に処理されていたことを確認いたしました。

なお、検査の対象、時期、概要及び結果につきましては、お手元にお配りしております報告書のとおりでございます。

以上で報告を終わります。

○**天野俊宏議長** 以上で例月出納検査の結果報告を終わります。

○

○**天野俊宏議長** 次に、日程5、議案第6号 財産（普通ポンプ自動車 水槽付き）の取得についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

中小路管理者。

○**中小路健吾管理者** それでは、日程5、議案第6号 財産（普通ポンプ自動車 水槽付き）の取得につきまして、ご説明申し上げます。

本件につきましては、長岡京消防署東分署に配置します水槽付きの普通ポンプ自動車を更新整備するものであります。

去る、令和4年6月1日に、5者による指名競争入札の結果、落札業者の株式会社モ

リタと4,169万円で仮契約を締結いたしました。

取得を予定しております普通ポンプ自動車につきましては、配付しております資料のとおり、キャブオーバーダブルシート型の3トンシャシで、水利不便地での消火活動及び燃焼建物の直近に部署し、自積水により迅速な放水活動を行うため、600リットルの水槽を備えるものであります。

当該車両の装備といたしましては、自己保有タンク水と、住宅火災等に対し優れた消火能力を発揮するように開発されました圧縮空気泡消火装置を搭載することにより、放水量の節減と筒先の軽量化が可能となることで、水損による被害の軽減と、隊員の活動負担軽減が実現できます。

ほかにも、キャビンのハイルーフ化を採用することにより、資機材の収納スペースと隊員の頭上部のスペースの確保を実現しております。

以上が概要でございます。

つきましては、近く契約を締結いたしたく存じますので、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○天野俊宏議長 ただいま、管理者から提案理由の説明がありました。本件について質疑を行います。

質疑、ございませんか。

福田議員。

○福田正人議員 国は、2050年にカーボンゼロ宣言をしております。今後のEV化ですけど、国は2035年に新車販売は全てEV化、ディーゼル、それから普通車、ガソリンの車は、新車はストップするというふうに、国は示しているわけですが、今回、このモリタから購入されたわけですが、モリタホールディングスは翌年、2023年に、EV化した消防車両を販売するというふうに言ってるわけですが、今回の購入に当たって、EV化ということについての協議はされたのかどうか、まずその1点、お聞きしたいなと思います。

○天野俊宏議長 高橋本部次長兼警防課長。

○高橋義彦本部次長兼警防課長 EV化につきましては、まだ艤装メーカーの方が、実用化はしてないという情報がありますので、今回につきましては、通常のエンジンタイプの消防車両の購入ということでご理解いただきたいと思います。

○天野俊宏議長 福田議員。

○福田正人議員 これから、主要都市、大都市は、一部で、東京なんかは導入されてるといことも聞きますけども、2035年に全ての新車販売が、いわゆるEV化、早くも公共交通機関であるとか、物流の車両は一部EV化がされてきております。

2035年、あともう13年後には、もうEV化になっていくということを考えれば、今回は、従来の車両でありますけども、今後はEVということをしかりテーマに入れて、今後発生するであろう買替え、車両の更新、考えていかなあかんと思います。

それについて、今後の計画、見通し、非常に二市一町財政厳しい中でもありますし、まだ国の予算、補助金等の話も出てませんが、今後、その辺、どういうふうを考えて進めていかれるのか、お考えございましたらお聞かせいただきたいと思います。

○天野俊宏議長 中小路管理者。

○中小路健吾管理者 ご指摘のように、やはり2050年ゼロカーボンというのは、我が国としても取り組んでいくということを、政府も明確に打ち出しておられます。

それに追随しまして、地方自治体の方でも、やはり取り組んでいかなければならないテーマだという認識をさせていただいているところであります。

当然のことながら、一方で、様々な技術の進展等もございますし、もちろん価格の問題等もございますが、方向性としては、そういうことをしっかり踏まえながら、車両の更新等についても、ぜひ進めてまいりたいというふうを考えているところであります。

○天野俊宏議長 ほかに、ございませんか。

(「なし」の声あり)

それでは、質疑もないようですので、質疑を終わり討論に入りますが、討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

では、討論もないようですので、討論を終わり採決いたします。

議案第6号について、原案どおり決することに賛成の方は挙手願います。

(賛成者挙手)

挙手全員であります。

よって、議案第6号 財産(普通ポンプ自動車 水槽付き)の取得については、原案どおり可決されました。

○

○天野俊宏議長 次に、日程6、議員の派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。

乙訓消防組合議会会議規則第148条の規定に基づき、令和4年7月11日及び12日に開催する、本組合議会議員視察研修に、お手元に配付してありますとおり、全議員を派遣することにご異議ございませんか。

(「なし」の声あり)

ご異議なしと認め、全議員を派遣することと決定いたしました。

以上で本日の議事日程は全部終了いたしました。

この際でありますので、何かほかにごございませんか。

米重議員。

○米重健男議員 諸報告でもございましたが、向日市の建物火災についてなのですけれども、件数としても、高齢者宅からの出火ということが増えているかと存じておりますが、今後、消防としての、こういう高齢者宅からの出火に対する予防、そういう対策につい

ては、どのようにお考えなのかなというところ、ちょっとお聞かせいただければと思います。

○天野俊宏議長 松岡消防長。

○松岡隆司消防長 議員ご指摘のとおり、高齢者の家庭の軒数自体が増えているという部分もございますし、そういった家庭からの出火という事例も増えている状況もございます。

この件に関しましては、住宅用火災警報器の設置推進ですとか、また、本部のホームページに、またあらゆる機会を通じて、予防策、こういったことを広報を通じてしていかなくてはいけないかなというふうに思っております。

○天野俊宏議長 米重議員。

○米重健男議員 従来どおりの方法でやられてると思うんですけども、住宅用火災警報器、つけておられないお家も、これを見ていると、つけてなかったということが出ておりますし、広報についても、広報誌も、だんだんと高齢になられると、字が読みにくくなるということで、読まれてない方もおられるという実情がございますけれども、このあたりは、高齢者対策としても、市町村との連携というのが重要になってくると思うんですが、その点、消防と各市町の連携というのは、どうなってるのかなという点、お聞かせいただければと思います。

○天野俊宏議長 松岡消防長。

○松岡隆司消防長 市町村との連携という部分では、市町ごとで、まちまちにはなっているところがあると思うんですけども、独居の方の訪問、そういった部分で、署の方の庶務予防課で対応させていただいている市町もございます。

また、こういった機会を通じて、住宅用火災警報器の設置についてご案内をさせていただいて、機器の設置については、こちらの方で、その設置の場所ですとか、いろんな相談を受けたりということもさせていただいている状況でございます。

○米重健男議員 ありがとうございます。

○天野俊宏議長 ほか、よろしいでしょうか。

渋谷議員。

○渋谷 進議員 これほどね、高齢化した世帯が増えてきているというのは、以前には想定してなかった状況やと思うんですね。

そうすると、これまでのような広報活動、周知活動では、なかなか高齢の方に届かないとか、響かないとか、そういう事態にもなってるんじゃないかなというふうに思います。

その辺、ちょっと、先ほど米重議員の方から話ありましたが、二市一町と連携するなり、何なりして、例えば警察の場合は、交番が、単位自治会に回覧を回すとかいうことやってますし、単位自治会で、高齢世帯に対する見守りとか、そういったことも、意識してはるところもあると思うし、そういったサイクルの中に、火災予防といいますか

ね、そういったものも入れていくというか、そういった取り組みも必要じゃないかと、これから必要じゃないかと思うんですけども、いかがでしょう。

○天野俊宏議長 松岡消防長。

○松岡隆司消防長 現在、火災予防運動が年に数回ございます。こういった機会に、職員が直接訪問させていただいたり、ビラをお配りさせていただいたりということを見せていただいているというのは、ございます。

今、おっしゃっていただいていた、警察さんも、これは独自でされてる事業と同じような形ではありますけれども、その中で、独居の方に対する火災予防の呼びかけ、こうした内容を、研究しながら取り込んで、広報に努めていかなければならないというふうに思っております。

○天野俊宏議長 渋谷議員。

○渋谷 進議員 そういうふうに、それぞれの市町の独居高齢者とか、高齢者世帯とかいうことを把握しようと思うと、やっぱりそらほんまにその情報の交換といいますかね、それが、市町と、これまで以上に必要になると思いますし、ぜひとも前向きに検討していただいて進めていただいて、高齢者世帯からの火災が少しでも減るよという、そういう努力をよろしくお願いいたします。

○天野俊宏議長 ほか、よろしいでしょうか。

北村議員。

○北村吉史議員 私からは、1点ちょっと要望しておきたいと思うんですけど、梅雨が急にあって、例年では考えられない天候になっていると。

そういった中で、熱中症がこれから急激に増えるだろうし、今年の6月の救急数、これも結構増えてきているという中で、熱中症に対する啓発をしていただきたいというのが1点、これは消防だけじゃなくて、自治体の方でも、その活動をしっかりとさせていただきたいというふうに思います。

あわせて、消防の職員の皆さんが、皆さん重装備される、普段でも装備、つけられてる状況の中で、職員の皆さんの熱中症に対する対応、その辺はきっちりと上から指導していただいて、休憩するところはきっちりと休憩すると。水分補給するときは水分補給するという基本的な動作を徹底していただいて、これ、一度この時期に熱中症になると、場合によっては命に関わることもありますので、そこらあたり、ちょっとしっかりと対応をお願いしたいなというふうに思いますのでよろしくお願いいたします。要望にしておきます。

○天野俊宏議長 米重議員。

○米重健男議員 もう1件だけ、この前の寺戸町の火災、一昨年のも集女の火災もそうですけれども、1つの家から延焼して、広域に広がっているということも出てます。

そういう意味で、住宅が比較的密集している場所での延焼対策、これは取り組みはどのように取り組まれておられるのかなというの、あればちょっとお聞かせいただければ

と思います。

○天野俊宏議長 松岡消防長。

○松岡隆司消防長 現在、乙訓消防組合のポンプ車なんですけれども、水槽付きのポンプ車に、全車、変わってきております。

これといいますのは、速消体制と申しまして、水利につかずにして、直近まで車を配置して、少しでも早く放水の体形をとるといふ、都市型火災の消火戦術をとっております。

今回の火災につきましても、火災の初期でありましたら、そういった形で効果は見られたのかもしれないんですけれども、残念ながら覚知時に既に出火建物から隣接の建物の延焼中ということで、そうした場合は、延焼防止を主眼とした活動ということで、現在、部隊運用をしているところでございます。

○天野俊宏議長 米重議員。

○米重健男議員 覚知前に大分広がったということで、結局、出火時点から覚知までの間で、どれぐらい抑えられるかということか、火の手が大きくなるのを防げるかということがあるかとは思いますが、こういった点については、消防としては、どういう取り組みで、これから向かわれるのかなということを教えていただきたいと思います。

○天野俊宏議長 松岡消防長。

○松岡隆司消防長 火災の予防に関しましては、まず早く知らせる、そして早く消す、こういったところを市民の方々向けに、住民指導させていただいているような部分でございます。

これは、我々消防が着くまでに、いかに早く対応するかということで、そういう市民指導をさせていただいている状況でございます。こういったところを充実していければというふうに思います。

○天野俊宏議長 それでは、これをもちまして、乙訓消防組合議会令和4年第2回定例会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午前10時28分

～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．

地方自治法第123条第2項の規定により下記に署名する。

乙訓消防組合議長 天 野 俊 宏

乙訓消防組合議員 山 本 法 政

乙訓消防組合議員 福 島 和 人